

2024年3月期 第1四半期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2023年8月2日

<2024年3月期 第1四半期 連結決算>

・決算サマリー	3
・連結損益計算書	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	5
・コア営業利益(全社)増減要因	6
・事業セグメント別 コア営業利益増減分析	7
・非経常項目	12
・連結キャッシュ・フロー計算書	13
・連結財政状態計算書	14
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	15

<参考資料①>

・24/3月期 トピックス	17
・連結損益計算書 四半期別推移	18
・コア営業利益増減分析	19
・事業セグメント別 EBITDAマージン推移	20

<参考資料②>

・ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等	22
-----------------------------	----

<参考資料③>

・スペシャリティマテリアルズ 市場別動向	27
----------------------	----

2024年3月期 第1四半期決算

- 全般に厳しい事業環境は続き、特に石油化学関連や半導体関連市場での需要の低迷のなか、原料ナフサ価格の下落影響もあり、売上収益は前年同期比4%の減収。
- 販売数量の減少と在庫評価損の影響を価格とコスト構造改革とで軽減させたが、全体ではコア営業利益は前年同期比30%の減益。特に石化・炭素の需要低迷と在庫評価損が減益の主要因となった。スペシャリティマテリアルズは、自動車やディスプレイ市場の回復基調に伴い前期4Qよりコア営業利益が良化した。半導体関連市場や欧米の需要低迷が続き、前年同期比では減益。MMAも市況の減速が落ち着き前期4Qより良化した。一方、産業ガスは価格マネジメントと生産性向上等により好調に推移、ヘルスケアも北米ラジカヴァの販売伸長とコスト構造改革により増益となった。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、非経常収益の計上等により前年同期比5%減益となった。

2024年3月期 業績予想

- MMA、ベーシックマテリアルズ、スペシャリティマテリアルズにおける低調な事業環境からの回復に力強さが見られず、厳しい状況で推移することを想定するが、好調な産業ガスの業績に加え、価格、コスト構造改革の堅調な進捗により、上期業績予想は据え置き。
- 下期業績予想についても、事業環境の見通しが非常に不透明であり現時点で業績への影響を取り込むことは困難であるため期初予想を据え置いている。
- 引き続き、経営方針「Forging the future 未来を拓く」に関する実行計画に基づき、財務目標達成に向け重要施策を着実に遂行していく。

連結損益計算書

為替レート (¥/\$)

131.3

139.6

8.3

6%

130.0

ナフサ単価 (¥/kl)

86,100

67,500

△ 18,600

△22%

67,000

(億円)

<参考>

23/3月期
1Q実績

24/3月期
1Q実績

増減

増減率

5/12発表
上期予想

進捗率

売上収益

11,065

10,612

△ 453

△4%

22,210

48%

コア営業利益 *1

721

508

△ 213

△30%

1,080

47%

非経常項目

△ 41

189

230

20

営業利益

680

697

17

3%

1,100

63%

税引前利益

751

688

△ 63

△8%

920

75%

四半期利益

533

558

25

630

親会社の所有者に帰属する

四半期利益

449

425

△ 24

△5%

430

99%

非支配持分に帰属する四半期利益

84

133

49

200

*1 内、持分法投資損益

40

27

△ 13

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

	23/3月期 1Q実績		24/3月期 1Q実績		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	11,065	721	10,612	508	△ 453	△4%	△ 213	△30%
スペシャリティマテリアルズ	3,167	223	2,909	92	△ 258	△8%	△ 131	△59%
ポリマーズ&コンパウンズ	873	72	794	71	△ 79		△ 1	
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	1,361	111	1,242	16	△ 119		△ 95	
アドバンストソリューションズ	933	40	873	5	△ 60		△ 35	
産業ガス	2,739	295	3,068	398	329	12%	103	35%
ヘルスケア	982	40	1,019	100	37	4%	60	150%
MMA	878	28	690	△ 9	△ 188	△21%	△ 37	-
ベーシックマテリアルズ	2,691	152	2,427	△ 80	△ 264	△10%	△ 232	-
石化	1,775	58	1,575	△ 44	△ 200		△ 102	
炭素	916	94	852	△ 36	△ 64		△ 130	
その他	608	△ 17	499	7	△ 109	△18%	24	-

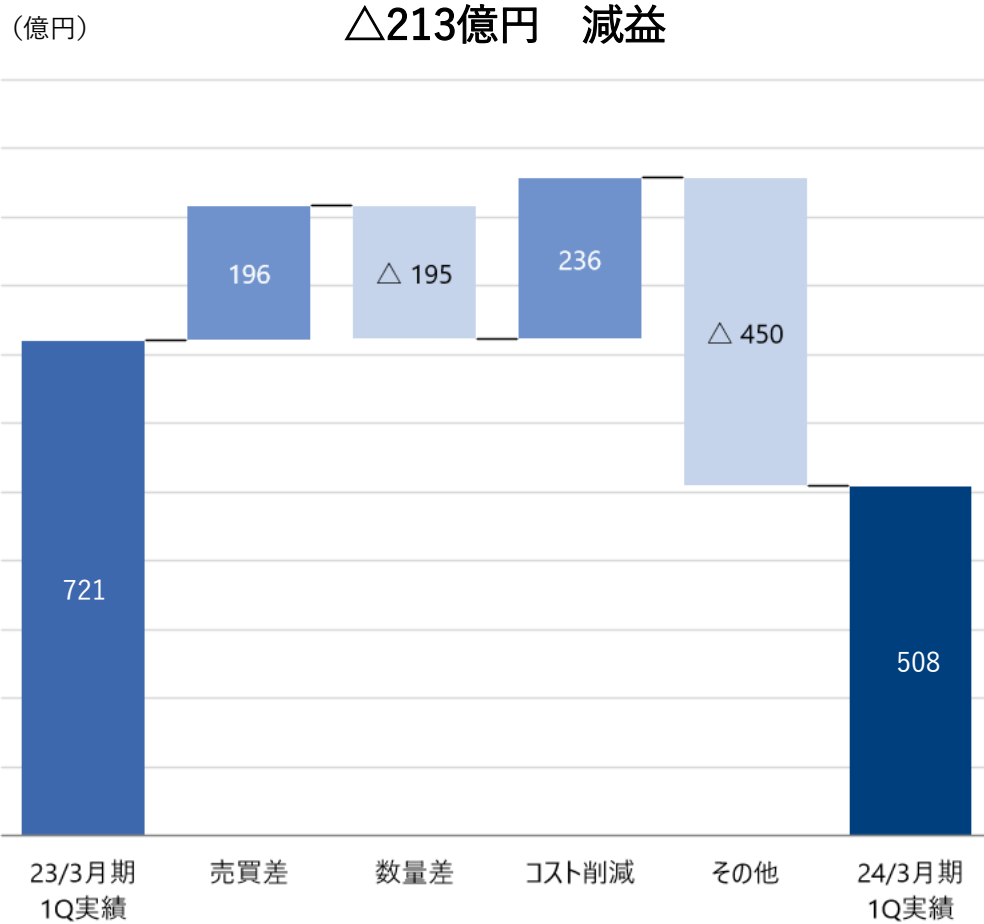
【在庫評価損益】

	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績	増減
ポリマーズ&コンパウンズ	3	△ 1	△ 4
石化	215	△ 3	△ 218
炭素	82	△ 2	△ 84
合計	300	△ 6	△ 306

* 24年3月期よりセグメントを、「スペシャリティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」、へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

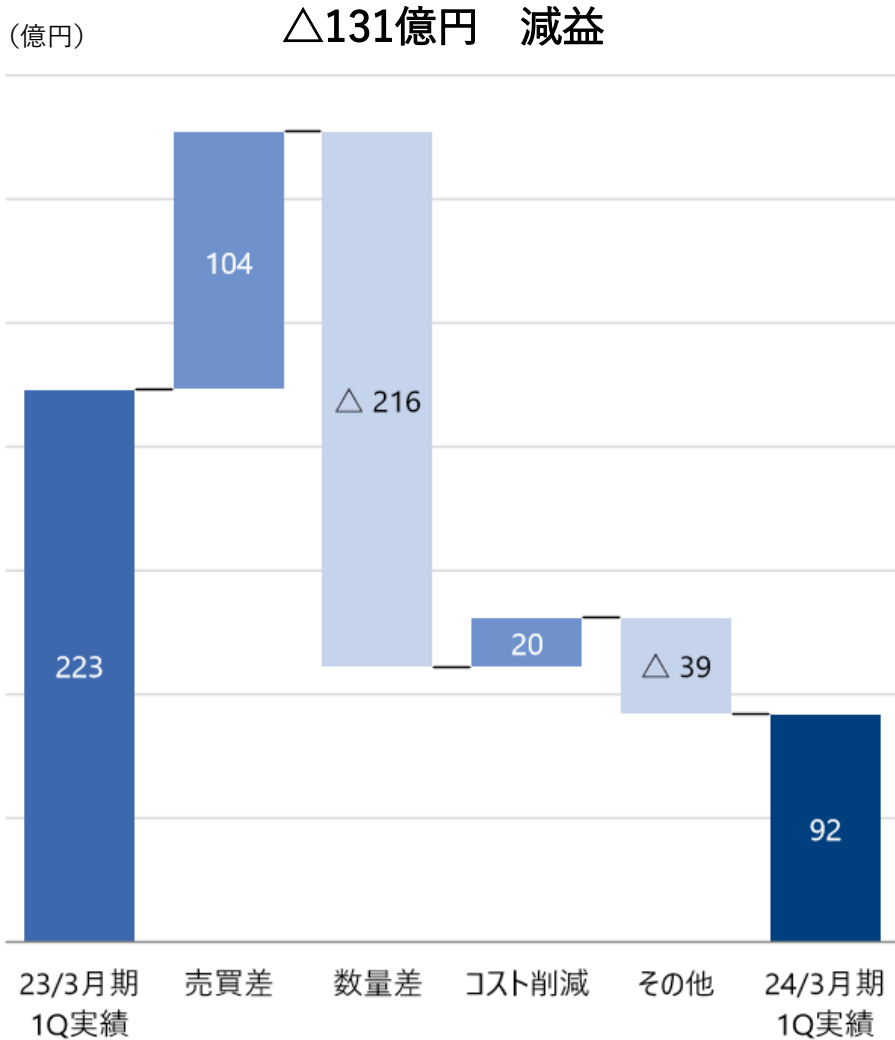
コア営業利益（全社） 増減要因



	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績	増減	(億円)			
				売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	721	508	△ 213	196	△ 195	236	△ 450
スペシャリティマテリアルズ	223	92	△ 131	104	△ 216	20	△ 39
産業ガス	295	398	103	57	15	55	△ 24
ヘルスケア	40	100	60	△ 11	37	105	△ 71
MMA	28	△ 9	△ 37	△ 61	△ 2	25	1
ベーシックマテリアルズ	152	△ 80	△ 232	99	△ 30	10	△ 311
その他	△ 17	7	24	8	1	21	△ 6
為替影響			17	24	0	-	△ 7
うち換算差				79			

*1 在庫評価損益差△306億円・持分法投資損益差△13億円等の金額が含まれております。

スペシャルティマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析



ポリマーズ&コンパウンズ (△1)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差	(-) バリア包材用途の需要堅調も、グローバルで塗料・インキ・接着剤等の需要減退等による減販
その他	(※)

フィルムズ&モールディングマテリアルズ (△95)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による高機能エンジニアリングプラスチックや炭素繊維の売買差改善
数量差	(-) エレクトロニクス市場の需要は当期に入り復調傾向にあるものの、前期1Q比では光学用フィルムの減販 (-) グローバルでの需要減退に伴い、高機能エンジニアリングプラスチックや炭素繊維の減販
その他	(※)

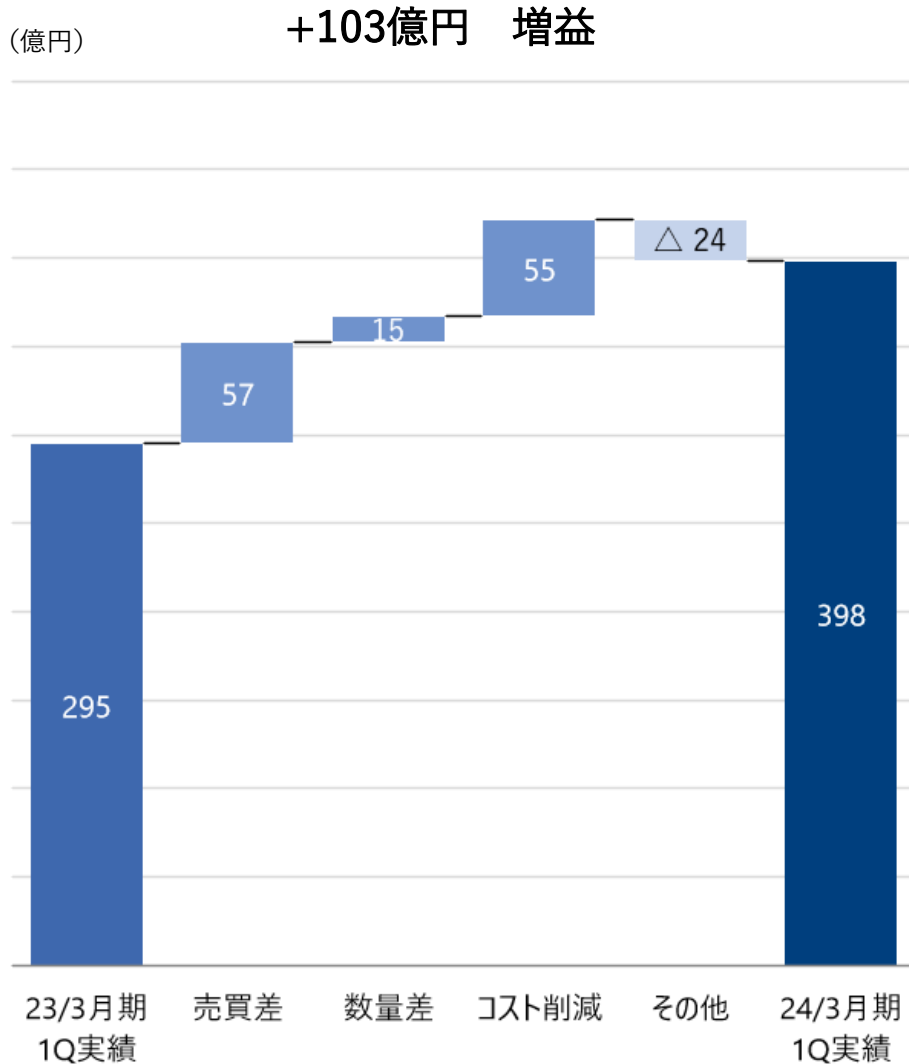
アドバンストソリューションズ (△35)

売買差	(+) EV/モビリティ向け電池材料において価格転嫁進捗
数量差	(-) 半導体市場の調整局面に伴い、精密洗浄サービスや高機能薬液等の半導体関連事業の減販
その他	(※)

(※) その他内訳

- (-) 新製造ライン稼働等に伴う固定費の増加等

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析



産業ガス (+103)

売買差

- (+) 欧米を中心に価格マネジメントによる売買差改善
- (+) 日本・アジア・オセアニアにおいて燃料価格上昇分の価格転嫁進捗

コスト削減

- (+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

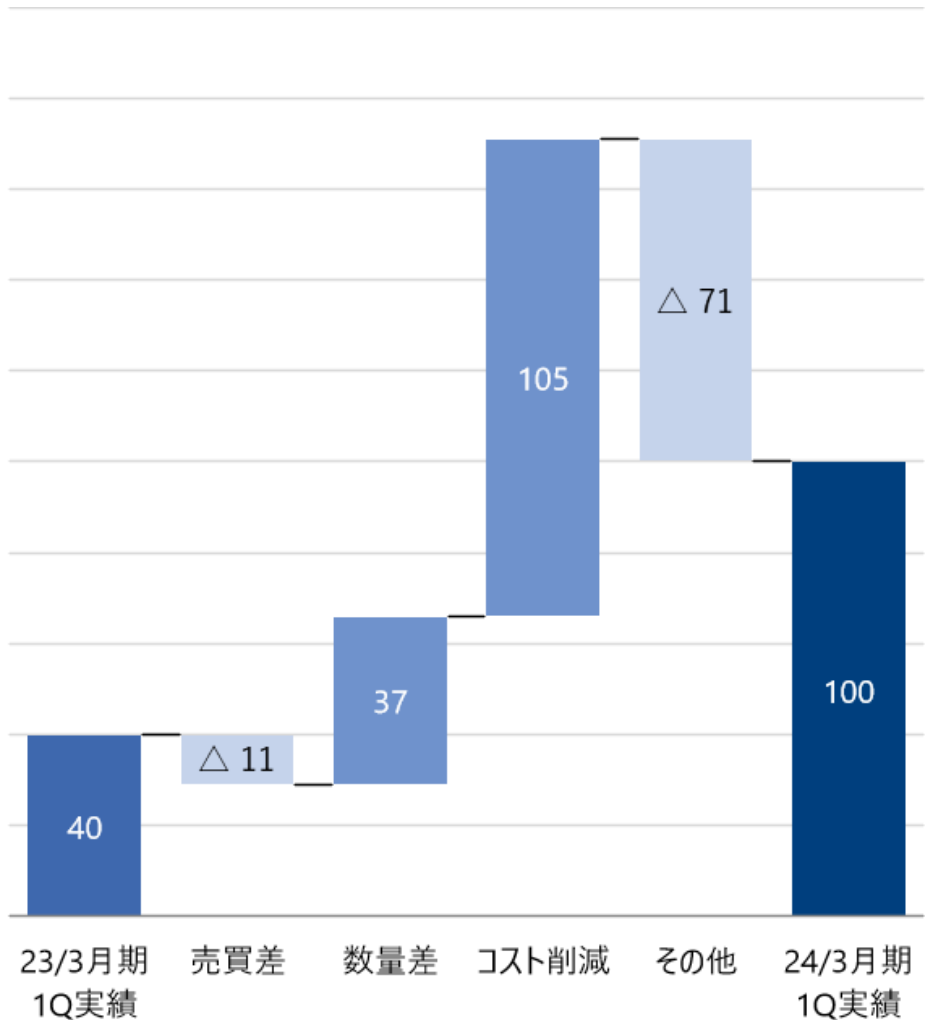
その他

- (-) インフレによる費用の増加

ヘルスケアセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+60億円 増益



ヘルスケア (+60)

売買差

(-) 国内医療用医薬品の薬価改定

数量差

(+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の販売伸長

コスト削減

(+) メディカゴ社の事業撤退による研究開発費の減少及びコスト構造改革の進捗

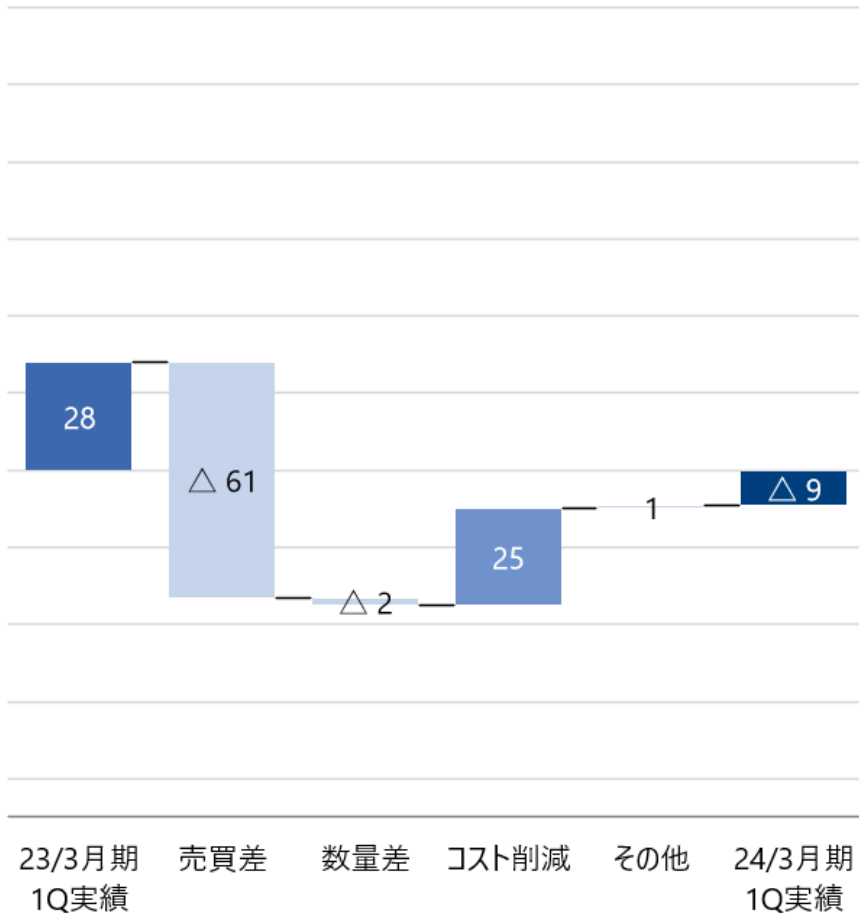
その他

(-) 新製品の上市に伴う販売費の増加等

MMAセグメント コア営業利益増減分析

△37億円 減益

(億円)



MMA (△37)

売買差

(-) 原料価格下落に伴い、MMAモノマーの売買差は当期改善傾向にあるものの、前期1Q比では悪化

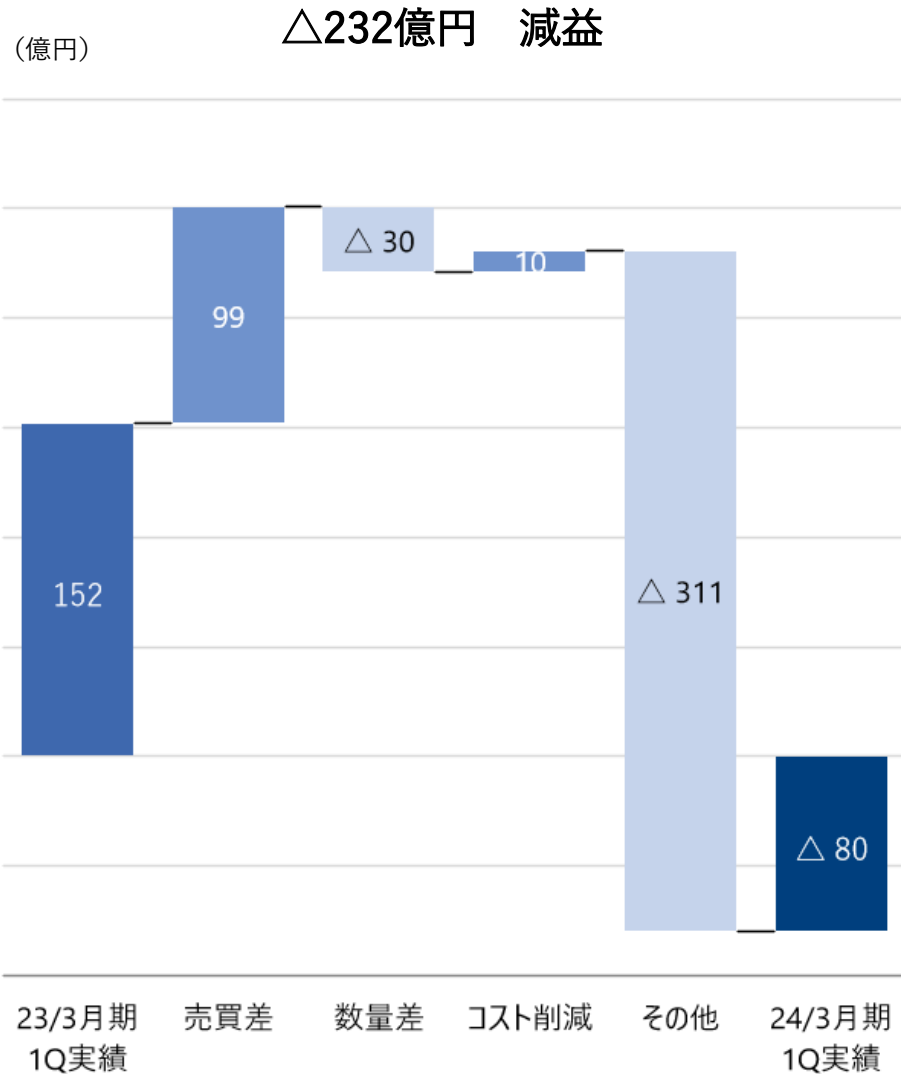
数量差

数量は前期並みに推移
(ANで減少も、MMAモノマー等は増加)

コスト削減

(+) 英国のキャッセル工場の閉鎖に伴うコスト削減

ベーシックマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析



石化 (△102)

- | | | |
|-----|-----|------------------|
| 売買差 | (+) | ポリオレフィンの価格改定時期ズレ |
|-----|-----|------------------|
- | | | |
|-----|-----|------------------------|
| 数量差 | (+) | 定修規模縮小 |
| (ー) | (ー) | 需要減退及びトラブルに伴う各製品の減産・減販 |
- | | | |
|-----|-----|-------------------|
| その他 | (ー) | 原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小 |
|-----|-----|-------------------|

炭素 (△130)

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| 売買差 | (ー) | コークスの需要減退に伴うコークス市況の下落による売買差悪化 |
|-----|-----|-------------------------------|
- | | | |
|-----|-----|-------------------|
| その他 | (ー) | 原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小 |
|-----|-----|-------------------|

非経常項目

(億円)

	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績	増減
非経常項目 合計	△ 41	189	230
関係会社株式売却益	-	56	56
事業整理損失	△ 1	△ 20	△ 19
固定資産除売却損	△ 2	△ 11	△ 9
仲裁裁定に伴う損失	△ 34	-	34
その他	△ 4	164	168

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績		23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績
営業活動によるCF	235	550	財務活動によるCF	329	5
税前損益	751	688	有利子負債	648	282
減価償却費	664	679	配当 他	△ 319	△ 277
営業債権債務	△ 39	190	現金及び現金同等物の増減	△ 62	△ 18
棚卸資産	△ 529	△ 129	為替換算差等	134	154
その他	△ 612	△ 878	合計	72	136
投資活動によるCF	△ 626	△ 573			
設備投資	△ 692	△ 632			
資産売却	54	188			
投融资 他	12	△ 129			
FCF	△ 391	△ 23			

連結財政状態計算書

(億円)

	23/3月末	23/6月末	増減
現金及び現金同等物	2,972	3,108	136
営業債権	8,088	7,834	△ 254
棚卸資産	7,979	8,421	442
その他	2,457	2,717	260
流動資産合計	21,496	22,080	584
固定資産	23,671	24,605	934
のれん	7,277	7,693	416
投融資等	5,299	5,550	251
非流動資産合計	36,247	37,848	1,601
資産合計	57,743	59,928	2,185

(億円)

	23/3月末	23/6月末	増減
有利子負債	23,758	24,699	941
営業債務	4,763	4,707	△ 56
その他	9,338	9,119	△ 219
負債合計	37,859	38,525	666
資本金・剰余金等	14,262	14,507	245
その他の資本の構成要素	1,384	2,241	857
親会社の所有者に帰属する持分	15,646	16,748	1,102
非支配持分	4,238	4,655	417
資本合計	19,884	21,403	1,519
負債・資本合計	57,743	59,928	2,185
ネット有利子負債 *1	20,786	21,591	805
ネットD/Eレシオ	1.33	1.29	△ 0.04
ROE *2	6.4%	-	-

*1 ネット有利子負債(23/6月末)

=有利子負債24,699億円 - (現金・現金同等物3,108億円 + 手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移



(億円)

		23/3月期					24/3月期	24/3月期 予想	
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	上期	下期
		全社	売上収益	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612
	コア営業利益	721	505	553	1,477	3,256	508	1,080	1,420
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	3,167	3,104	3,056	3,010	12,337	2,909	5,990	6,390
	コア営業利益	223	213	116	△ 37	515	92	290	440
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	873	833	840	841	3,387	794	1,780	1,800
	コア営業利益	72	92	54	44	262	71	130	140
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	1,361	1,310	1,285	1,221	5,177	1,242	2,480	2,670
	コア営業利益	111	74	37	△ 42	180	16	120	190
アドバンスソリューションズ	売上収益	933	961	931	948	3,773	873	1,730	1,920
	コア営業利益	40	47	25	△ 39	73	5	40	110
産業ガス	売上収益	2,739	2,954	2,971	3,115	11,779	3,068	5,680	5,830
	コア営業利益	295	248	300	367	1,210	398	590	660
ヘルスケア	売上収益	982	1,049	1,168	2,155	5,354	1,019	1,950	1,940
	コア営業利益	40	5	155	1,242	1,442	100	130	70
MMA	売上収益	878	790	693	691	3,052	690	1,600	1,590
	コア営業利益	28	20	△ 46	△ 42	△ 40	△ 9	20	80
ベーシックマテリアルズ	売上収益	2,691	3,070	2,862	2,595	11,218	2,427	5,790	6,200
	コア営業利益	152	22	3	△ 56	121	△ 80	60	160
石化	売上収益	1,775	2,030	1,961	1,771	7,537	1,575	3,870	4,090
	コア営業利益	58	33	△ 10	△ 56	25	△ 44	50	110
炭素	売上収益	916	1,040	901	824	3,681	852	1,920	2,110
	コア営業利益	94	△ 11	13	0	96	△ 36	10	50
その他	売上収益	608	666	614	717	2,605	499	1,200	1,390
	コア営業利益	△ 17	△ 3	25	3	8	7	△ 10	10

* 24年3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」、へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

参考資料①

スペシャリティマテリアルズ

- Neogen Chemical Limitedと、インドにおけるリチウムイオン二次電池（LIB）用電解液の製造技術ライセンス供与に関する契約を締結しました。また、フッ素ケミカルメーカーのKoura社と、北米におけるLIB用電解液のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。
- 韓国のLIB用正極材メーカーL&F Co., Ltd. と、米国FTA締結国におけるLIB用負極材のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。

産業ガス

- ベルギーにおいて、Terranova nvとLuminusとともに、グリーン水素を製造する合弁会社Terranova Hydrogen NVを設立し、グリーン水素製造プラントを建設し、運営します。製造開始は2025年初頭を予定しています。

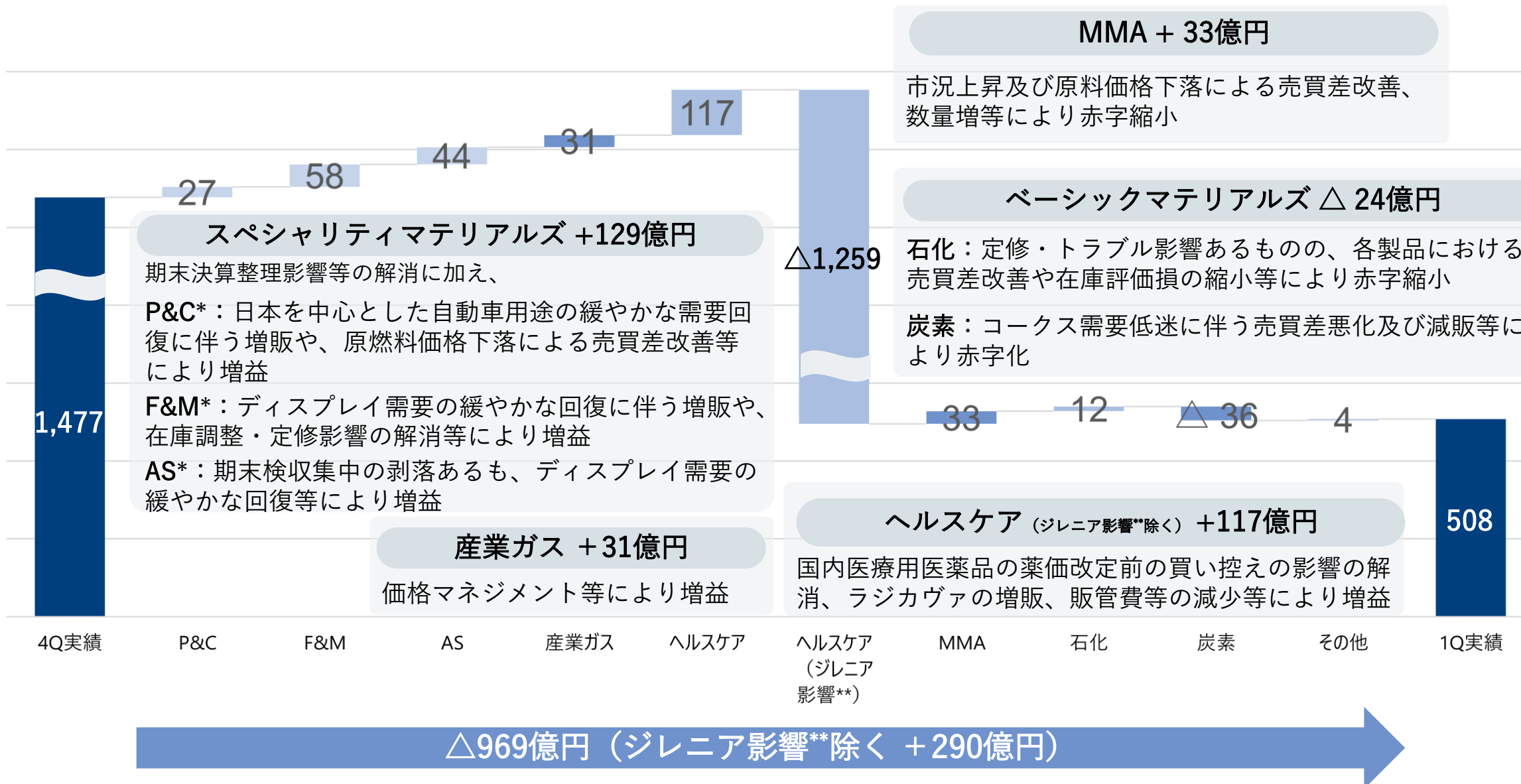
ヘルスケア

- エダラボン経口懸濁剤（開発コード：MT-1186）について、筋萎縮性側索硬化症（ALS）を適応症として、2023年5月にスイス（製品名：「RADICAVA® Oral Suspension」）で承認を取得しました。同剤は、米国・カナダ・日本で既に承認されています。

連結損益計算書 四半期別推移

	為替レート (¥/\$)	131.3	139.4	139.9	133.4	136.0	139.6
	ナフサ単価 (¥/kl)	86,100	81,400	72,500	66,500	76,600	67,500
							(億円)
		23/3月期					24/3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
売上収益		11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612
コア営業利益 *1		721	505	553	1,477	3,256	508
非経常項目		△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429	189
営業利益(△損失)		680	504	△ 698	1,341	1,827	697
金融収益・費用		71	△ 35	△ 130	△ 53	△ 147	△ 9
(内、受取配当金)		(78)	(2)	(11)	(32)	(123)	(46)
(内、為替差損益)		(37)	(30)	(△ 64)	(△ 4)	(△ 1)	(45)
税引前利益(△損失)		751	469	△ 828	1,288	1,680	688
法人所得税		△ 218	△ 87	361	△ 381	△ 325	△ 130
当期利益(△損失)		533	382	△ 467	907	1,355	558
親会社の所有者に帰属する 当期利益(△損失)		449	290	△ 569	794	964	425
非支配持分に帰属する当期利益		84	92	102	113	391	133
*1 内、持分法投資損益		40	32	27	20	119	27

コア営業利益増減分析 (4Q→1Q)



スペシャルティマテリアルズ +129億円

期末決算整理影響等の解消に加え、
P&C*：日本を中心とした自動車用途の緩やかな需要回復に伴う増販や、原燃料価格下落による売買差改善等により増益
F&M*：ディスプレイ需要の緩やかな回復に伴う増販や、在庫調整・定修影響の解消等により増益
AS*：期末検収集中の剥落あるも、ディスプレイ需要の緩やかな回復等により増益

産業ガス +31億円

価格マネジメント等により増益

MMA + 33億円

市況上昇及び原料価格下落による売買差改善、数量増等により赤字縮小

ベーシックマテリアルズ △ 24億円

石化：定修・トラブル影響あるものの、各製品における売買差改善や在庫評価損の縮小等により赤字縮小
 炭素：コークス需要低迷に伴う売買差悪化及び減販等により赤字化

ヘルスケア (ジレニア影響**除く) +117億円

国内医療用医薬品の薬価改定前の買い控えの影響の解消、ラジカヴァの増販、販管費等の減少等により増益

* P&C=ポリマーズ&コンパウンズ、F&M=フィルムズ&モールドイングマテリアルズ、AS=アドバンスドソリューションズ
 ** 多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティに係る仲裁判断の結果を受け、2023年3月期第4四半期において一括で収益認識した影響

事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	23/3月期 *	24/3月期 1Q	24/3月期 予想	26/3月期 目標
全社	12.6%	10.9%	11.3%	18.0%
スペシャリティマテリアルズ	9.0%	8.8%	11.3%	16.0%
産業ガス	19.1%	21.9%	20.0%	24.0%
ヘルスケア	29.4%	13.1%	8.7%	15.0%
MMA	6.4%	6.4%	10.0%	15.0%
ベーシックマテリアルズ	4.6%	0.4%	5.3%	—

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

* ジレニアの仲裁判断の結果を控除して算定した23年3月期のEBITDAマージンは、全社 10.1%、ヘルケア 7.7%です。

参考資料②

ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2023年7月25日現在

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
		日本	全身性強皮症					
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫					

^{*1} ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画

	24/3月期	25/3月期	26/3月期以降
中枢神経	MT-1186 ALS(経口懸濁剤) (日本*1)	ND0612 パーキンソン病 (グローバル)	MT-0551 重症筋無力症 (日本)
免疫炎症			MT-0551 IgG4関連疾患 (日本) MT-7117 EPP, XLP (グローバル)
糖尿病・腎		TA-7284 OD錠 2型糖尿病、2型糖尿病を合併する慢性腎臓病*2 (日本)	
ワクチン	MT-2355 5種混合ワクチン*3 *4 (日本)		
がん			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (日本)

*1 スイスで承認取得

*2 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*3 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

*4 定期接種化時期により変更の可能性あり

: グローバル (米国上市年度)
 : 日本・中国
 : 上市済み

医薬品事業 損益計算書 (2024年3月期 1Q実績)

	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績	(億円) 増減	増減率	<参考> 5/12発表 上期予想	進捗率
売上収益	982	1,019	37	3.8%	1,950	52.3%
国内	798	769	△ 29	△ 3.7%	1,470	52.3%
海外	183	250	67	36.4%	480	52.1%
海外売上比率	18.7%	24.5%			24.6%	
売上原価	515	535	20	4.0%	1,000	53.5%
売上原価率	52.4%	52.5%			51.3%	
売上総利益	467	484	17	3.6%	950	50.9%
販管費等	427	383	△ 45	△ 10.4%	820	46.7%
研究開発費	203	146	△ 57	△ 28.2%	310	47.0%
コア営業利益	40	101	61	155.2%	130	77.6%
非経常項目	△ 1	131	132		30	
営業利益	38	231	193	504.2%	160	144.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	19	238	219	1,185.3%	85	279.9%

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+12億円、コア営業利益で約△3億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2024年3月期 1Q実績）



	(億円)			<参考>		
	23/3月期 1Q実績	24/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/12発表 上期予想	進捗率
国内医療用医薬品	772	743	△ 28	△ 3.7%	1,417	52.5%
重点品・新製品	406	434	+ 28	6.9%	787	55.2%
ステラール	151	169	+ 18	12.1%	275	61.4%
シンボニー	114	114	△ 0	△ 0.4%	216	52.8%
テネリア	38	26	△ 12	△ 32.0%	55	46.4%
カナグル	30	32	+ 1	3.6%	73	43.3%
カナリア	22	29	+ 7	34.0%	55	52.3%
バフセオ	5	6	+ 1	26.2%	16	37.4%
ユプリズナ	7	14	+ 7	110.8%	16	88.6%
ルパフィン	22	20	△ 2	△ 10.0%	36	54.4%
ジスバル	12	13	+ 1	7.7%	24	55.8%
ラジカット	6	12	+ 6	108.8%	21	59.0%
ワクチン	73	67	△ 7	△ 8.8%	202	33.1%
インフルエンザ	△ 0	△ 0	△ 0	-	66	△ 0.0%
テトラビック	25	27	+ 2	6.8%	52	51.3%
ジェービックV	16	9	△ 7	△ 42.3%	29	32.2%
ミールビック	16	17	+ 0	1.8%	25	66.2%
水痘ワクチン	13	11	△ 2	△ 18.8%	23	45.9%
長期収載品等	292	242	△ 50	△ 17.1%	428	56.6%
レミケード	92	81	△ 11	△ 12.2%	157	51.3%
海外医療用医薬品	156	236	+ 80	51.4%	416	56.7%
ラジカヴァ	75	159	+ 84	112.2%	264	60.5%
ロイヤリティ収入等	31	18	△ 13	△ 43.2%	非開示	
インヴォカナ ロイヤリティ	16	12	△ 4	△ 27.4%	非開示	
ジレニア ロイヤリティ	9	△ 7	△ 15	-	非開示	

参考資料③

スペシャリティマテリアルズ 市場別動向

スペシャリティマテリアルズ・最重要戦略市場動向

最重要戦略市場		主要製品	2024年3月期 第1四半期 概況	2024年3月期 第2四半期以降 見通し
EV/モビリティ		電解液 繊維強化プラスチック・ 複合材料	半導体不足等の影響が緩和し、日本や欧米において緩やかな回復基調が見られる	グローバルでの需要回復を見込み、通期の自動車生産台数は対前期増を見込む EV市場は拡大基調継続
デジタル	半導体	半導体洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ	2022年度下期に本格化した半導体市場の停滞が継続 メモリー中心にグローバルに減産	当面は調整局面が継続し、4Q以降に緩やかな回復を見込む 中長期的には車載及びデータセンター向け等の一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
	エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	市場在庫の適正化進捗 アジアを中心に緩やかに需要回復	年末需要に向けて底堅く推移 回復基調の継続を見込む
食品		乳化剤 包装フィルム 包装材料	インフレの影響によりアジアや欧州を中心に食品包装材市場は軟調の兆し	食品包装材市場はグローバルで需要が軟調に推移 中長期的にはフードロス削減等のニーズを背景に需要拡大を見込む

スペシャルティマテリアルズ・市場別 売上収益及びEBITDA

(億円)

	23/3月期 実績		24/3月期 1Q実績		24/3月期 予想		26/3月期 目標	
	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA
スペシャルティマテリアルズ	12,300	1,110	2,900	260	12,400	1,400	13,700	2,230
EV/モビリティ	2,000	110	500	30	2,300	190	2,800	310
半導体	1,000	190	250	40	1,000	200	1,500	350
エレクトロニクス	1,300	160	350	50	1,500	210	2,000	420
食品	2,100	340	500	110	2,200	340	2,200	390
産業材、メディカル、消費財、建設等	5,900	310	1,300	30	5,400	460	5,200	760

* 市場別内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。